

臨床研究概要

整理番号 09-10-02

研究課題名

マルチスライスCTを用いた冠動脈造影法による冠動脈疾患診断と各種パラメーター測定の有用性

目的

マルチスライスCTを用いた冠動脈造影法により冠動脈疾患を診断し、疾患の有無による非侵襲的検査値[脈波伝播速度(PWV)、Cardio Ankle Vascular Index(CAVI)、Flow Mediated Dilation(FMD)]や各種脂質プロファイルおよびバイオマーカー(抗酸化・抗炎症マーカー)値やHDL機能の違いを分析し、その意義について検討する。さらに、3年後にマルチスライスCTを用いた冠動脈造影法を再び実施する(再同意要)。3年後にCTを実施した患者について、再び上述の違いを分析し、その意義について検討する。

適格基準

冠動脈疾患を疑われ、マルチスライスCTを用いた冠動脈造影を実施予定で、同意の得られた患者。3年後にCTの同意が得られない場合は実施しない。性別：問わない。年齢：20歳以上。

方法

一般血液検査および特殊検査、非侵襲的検査(PWV、CAVI、FMD)は今回のマルチスライスCT撮影前および3年後に実施する。CT検査を3年後に実施しない場合は、心・脳・血管イベント発症についての調査のみを実施する。

評価項目

主要評価項目：冠動脈疾患の有無による非侵襲的検査値の差異(今回、3年後および今回と3年後の比較)、冠動脈疾患の有無による各種バイオマーカー値の差異(今回、3年後および今回と3年後の比較)心・脳・血管イベント発症の状況。
副次的評価項目：冠動脈疾患の有無による一般検査値の差異(今回、3年後および今回と3年後の比較)

目標症例数：1200例

試験期間：2009.9.1-2017.8.30

協力病院：なし